

## \* \* \* 合名会社渡辺酒造店の変遷 \* \* \*

明治元年（1868） 渡辺平十郎により現在地にて創業

二代目 平吉

三代目 亮三郎

四代目 清造（昭和14年12月、中国大陆にて戦死）

五代目 正剛

六代目 吉樹

昭和28年（1953） 法人改組（12月23日）

平成4年（1992） 製造設備の近代化に着手

精米所建設、コンピューター制御の精米機並びに発酵タンクを導入

**地元正社員による、週休制・通勤制の酒造りへの移行開始**

平成9年（1997） 地元農家との直接契約による、酒米生産の開始

平成13年（2001） 渡辺吉樹が代表社員に就任する。（7月）

平成14年（2002） 地元正社員のみによる酒造体制が完成する。（2001年春、季節労務の杜氏が引退）

**自社栽培による、酒米生産の開始**

平成17年（2005） 渡辺吉樹、認定農業者の資格取得

平成18年（2006） 乾燥・調製施設「根知谷農舎 根小屋1号棟」竣工（8月）

「Nechi」ブランドを創設し、商標登録する。

「Nechi」ブランドを特約店契約制度で販売開始する。（4月）

平成20年（2008） 無農薬栽培による五百万石の生産開始

岩波書店ブックレットNo.745にて、日本酒の世界に「产地」「品種」「品質」の価値を提唱する。「いま、日本の米に何が起きているのか」（12月）

平成21年（2009） 自社栽培・無農薬栽培の五百万石で特等米を産出する。

平成22年（2010） イギリス・ロンドンにて、IWCチャンピオンSAKE受賞（Nechi 2008）（9月）

記録的猛暑の中、五百万石で特等米を産出する。

平成23年（2011） 乾燥・調製施設「根知谷農舎 根小屋2号棟」竣工（8月）

**全量根知谷産米による酒造りを達成する。（五百万石、越淡麗）**

平成24年（2012） 農業部門を法人化（農業生産法人）し、㈱根知ライスファーム設立（4月）

㈱根知ライスファーム 認定農業者資格取得（5月）

作付面積が10haを超える。

ケンブリッジ大学チャーチル・カレッジにてSAKEレクチャー。（7月）

5条刈り最新鋭コンバインを1台導入する。（9月）

2010年に次ぐ猛暑の中、1枚の田んぼで五百万石特等米を産出する。

平成25年（2013） 山同敦子著（講談社刊）「極上の酒を生む土と人 大地を醸す」に取り上げられる。（3月）

公益社団法人日本醸造協会にて、酒造会社が取り組む米作りについて講演。（4月）

イギリス・ロンドンにて、IWCゴールドメダル受賞（Nechi 2011）（7月）

IWCの30周年記念晩餐会に招待される。（7月）

イギリス・ディスカバリー・チャネル制作番組に取り上げられる。（7月撮影、10月放映）

五百万石の全収穫量のうち17%が特等米となる。

イギリス・ロンドンの高級販売店HEDONISM WINESに「Nechi」ブランド商品が採用される。（12月）

平成26年（2014）	出荷管理棟の建設計画に着手する。建築用スギ材の伐採開始。（3月） <b>作付面積が12haを超え、自社栽培比率75%となる。</b> 五百万石の全収穫量のうち61%が特等米となり、自社栽培の特等米比率が98%となる。（9月） 越淡麗で自社栽培初の特等米を産出し、特等米比率が46%となる。（10月） ※2014年産の越淡麗では、県内唯一の特等米を産出する。 「地域資源活用事業」の認定を受ける。経済産業省、農林水産省、財務省より。（10月）
平成27年（2015）	出荷管理棟建築用スギ材の製材開始。（10月） <b>作付面積が13haを超え、自社栽培比率80%となる。</b> 渡辺晋太郎（七代目）入社。（4月） 8条植え田植え機を1台購入し、2台の体制で作業速度を向上させる。（4月） <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラクター3台（50馬力、28馬力、24馬力）</li> <li>・田植え機 2台（8条植え、8条植え）</li> <li>・コンバイン3台（5条刈り、2条刈り、2条刈り）</li> <li>・乾燥機 3台（73石、73石、73石）</li> </ul> 100%自社栽培に向けた生産体制の整備が完成する。 根知集落協定（12集落）が国の承認を得て、第4期対策が始まる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・協定組織の副代表に渡辺吉樹が就任</li> </ul>
平成28年（2016）	<b>作付面積が14haを超え、自社栽培比率85%となる。</b> 「経営革新計画」について新潟県知事の承認を取得する。（2月） 出荷管理棟「豊醸蔵」の建設工事が始まる。（4月） ※平成30年（2018）4月運用開始予定 パークー・ポイント94点を獲得する（根知男山 純米大吟醸）。（9月） 五百万石で特等米を産出する（日ノ詰地区）。（9月） チェコ・プラハにてIWP商談会に日本酒メーカーとして初参加（10月）
平成29年（2017）	<b>契約農家は1軒を残すのみとなり、自社栽培比率は94%となる。</b> 根知集落協定（12集落）の協定組織代表に渡辺吉樹が就任する。（4月） イギリス・ロンドンにて、IWCシルバーメダル受賞（根知男山 山廃純米 2015）（5月） 乾燥機1台増設し、最適期収穫を更に徹底する。（8月） 五百万石で特等米を産出する（日ノ詰地区）。（9月） 渡辺正剛（会長）逝去。享年79歳（12月）
平成30年（2018）	出荷管理棟「豊醸蔵」の建設工事完了、建物登記。（1月） 同「豊醸蔵」店舗運用開始（3月） 同「豊醸蔵」店舗正式オープン（4月） 日本釀造協会 経営セミナーにて講演（5月） 山形県山形市にて、IWCブロンズメダル受賞（根知男山 山廃純米 2016）（5月） 兵庫県加東市の東条山田錦振興会総会にて講演（8月） 5条刈りコンバイン1台購入し、2台の体制で作業速度を向上させる。（8月） <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラクター3台（50馬力、28馬力、24馬力）</li> <li>・田植え機 2台（8条植え、8条植え）</li> <li>・コンバイン2台（5条刈り、5条刈り）</li> <li>・乾燥機 4台（73石、73石、73石、80石）</li> </ul> 世古一穂、土田修共著（七つ森書館） 「日本酒、米づくりから始める」に取り上げられる。（9月）

平成30年（2018） 五百万石で特等米を産出する（日ノ詰地区） （9月）  
渡辺晋太郎（7代目）結婚する。（10月）  
Watson's Wine（香港）と取引開始（12月）

平成31年（2019） トラクター1台購入 34馬力 （3月）